

こだま No.12

宇都宮市立旭中学校 学校だより

令和2年3月25日



《生徒の指標》【旭中学校生徒の誓い】

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」 旭中生徒会

1. 私たちは、心をこめてあいさつをします。
2. 私たちは、時間を守り自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し助け合います。
4. 私たちは、進んで動きます。
5. 私たちは、社会生活のルールを守ります。



進級おめでとう！

新型コロナウイルス感染症対策……このピンチをチャンスに！
令和2年度 皆さん一人一人の活躍を期待しています！



突然の臨時休業から3週間が過ぎました。久しぶりに生徒の皆さんと会え、元気に過ごしている姿が見られて安心しました。

さて、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われています。日に日に朝夕の寒さが和らぎ、春の色彩や香りが目立ってきました。とくに今年は早いうちから暖かい日が多く、東京では3月14日にソメイヨシノの開花が発表されました。過去最速での桜の開花となりました。宇都宮でも21日に開花しました。まもなく満開となり、いよいよ待ち望んだ本格的な春の訪れです。

新型コロナウイルス対応の中、3月10日には規模を縮小しての卒業証書授与式が挙行され、卒業生171名は、中学校生活の思い出を胸に新しい道を歩み始めました。来賓、在校生の出席はありませんでしたが、あたたかい式となりました。また、1、2年生は、本日、予定を変更してテレビ放送で修了式を行いました。新しい学年への進級に喜びを感じていることと思います。一週間後には新年度を迎えます。今は新型コロナウイルス対応のためいろいろな制約がありますが、このピンチを乗り越えチャンスに変え、桜のように美しい花を咲かせ、輝いて欲しいです。これまでに叶えられなかった願いが実現できるよう、素晴らしい令和2年度になることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、生徒たちの健やかな成長を見守るとともに、様々なご指導をいただいたこと、心より感謝いたします。今後とも、本校の教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

1年間お世話になりました

保護者や地域の皆様におかれましては、この1年間、本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力をいただき、たいへんありがとうございました。お陰様で、生徒たちの大きな成長を見ることができました。

今後も、充実した学校教育の推進に向け、教職員一同努力してまいります。

来年度も、これまで同様のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

学習の補充について

3月2日から学校が臨時休業となり、一部終えていない学習内容があります。これらについては、内容に応じて授業、家庭学習及び放課後の活動で補充していく予定です。

☆ ありがとう ☆

「ありがとう」……生徒の皆さんは、この言葉をどのくらい言っていますか。簡単な言葉ですが、心をとめて明るく豊かにする言葉です。学校も家庭も地域も、さらには世界中も「ありがとう」の言葉でいっぱいになることを願っています。

2年間本校校長として勤めてまいりましたが、多くの方々に支えられたことを深く感謝いたします。旭中への感謝も込めて、今年度最後のメッセージを「**ありがとう**」で作りました。(20作目)

あ 旭の未来
り 理想追い求め
が 頑張ろう
と 永久に続く
う 美しき伝統



171名の旅立ち（第71回卒業証書授与式）

3月10日に、第71回卒業証書授与式が挙行政され、171名の卒業生が本校を巣立っていきました。新型コロナウイルス感染症対策のため、来賓の臨席やあいさつ、在校生の参加はありませんでしたが、予定通り卒業式を執り行うことができました。職員一同、喜びでいっぱいです。ご協力いただきました皆さまに厚くお礼を申し上げます。

また、9年前の3月11日は、東日本大震災が発生した日です。今なお、避難生活を余儀なくされている方がいらっしゃる中で、縮小とはいえ、このように卒業式を挙行政できましたことを感謝いたします。

臨時休業となったため練習や準備が不十分でしたが、前日は、卒業生を最高の気持ちで送り出したいと、本校教職員が生徒役を務めて何度もリハーサルを行いました。また、式場の準備にも時間をかけ、何度もチェックしました。



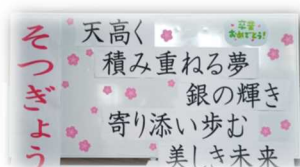
【卒業証書授与】



【在校生送辞】



【卒業生答辞】



卒業式当日、卒業生は久しぶりに登校し、先生や友達との再会を楽しみ、とても良い表情をしていました。式が始まると練習不足とは思えないくらい、とても素晴らしい態度で、厳肅な中にも温かみのある感動的な卒業式となりました。

校長式辞では、最後にいつもの旭メッセージで締めくくりました。

卒業生の皆さんの今後の活躍を期待しています。



【式歌合唱】



来賓からのあいさつは、すべてあいさつ文としてまとめ配付しました。

宇都宮市教育委員会あいさつでは、ラグビーワールドカップの話題をとりあげ、「皆さんも、ラグビー日本代表のように、困難に遭っても決してあきらめず、夢や目標の実現に向けて努力を続ける人になってください。そして周囲に支えられていることに感謝し、皆さん自身も人や社会のために行動できる人になることを願っています。」と応援の言葉が送られました。

宇都宮市議会議長あいさつでは、ノーベル化学賞を受賞された名城大学教授吉野彰先生のリチウムイオン電池開発を話題としてとりあげ、「失敗を糧として、あきらめずに前向きに取り組んでいく」ことの大切さが伝えられました。

また、市長メッセージでは、バスケットボールの八村塁選手をとりあげ、「人間力」を高めるためには「我慢すること」が大切というメッセージが送られました。

本校の稲見PTA会長からは、「自ら学んでいくこと」の重要性、「学ぶ」姿勢をもってそれぞれの道を歩んで欲しいとエールが送られました。

ここで卒業生に伝えられたメッセージは、1，2年生にも通じるものです。1，2年生の生徒の皆さん、この進級の時期に、これまでを振り返るとともに、新たな自分の道を強く描いていきましょう。